

第50回松本市文書館講演会

日本常民文化研究所100年の系譜

— 渋沢敬三から網野善彦へ 歴史資料との向き合い方 —



渋沢敬三(1896～1963)



網野善彦(1928～2004)

(写真はいずれも神奈川大学日本常民文化研究所所蔵)

渋沢栄一の孫で、民俗学の世界に多くの業績を残した渋沢敬三。彼が主宰したアチックミュージアム(現. 神奈川大学日本常民文化研究所)からは民俗学から歴史学まで多岐にわたる研究者が巣立っていった。松本ゆかりの渋沢敬三の生誕 130 年に語られる「知の巨人」が播いていった人材育成の系譜とは。

講師: 関口 博巨 氏(神奈川大学日本常民文化研究所長)

<プロフィール>

1960 年、埼玉県生まれ。日本近世史専攻。博士(歴史民俗資料学)。現在、神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科教授、同大日本常民文化研究所所長。

著書に『近世村落の領域と身分』(吉川弘文館、2021 年)、『古文書を学ぶ』(御茶の水書房、2021 年)、編著に『古文書修復講座 歴史資料の継承のために』(勉誠社、2024 年)などがある。

◆日 時 令和8年 11月28日(土)午前10時～11時30分

◆会 場 松本市文書館 講義室

◆参加料 無料

◆定 員 60 名

◆申 込 10月31日(土)午前 9 時から

電話受付(Tel0263-28-5570)※月曜日・祝日は休館

■ 渋沢敬三と松本

昭和4年、松本で民俗学者胡桃沢勘内、実業家池上喜作と弟の隆祐らが主となり知識の饗宴の場として「話をきく会」を創設して運営。渋沢敬三も講師に招かれ松本の人士と交流を深めました。

お申込・お問い合わせ

<松本市文書館>

〒390-0837

長野県松本市鎌田2丁目8番25号

TEL 0263-28-5570

◆交 通 公共交通機関の利用にご協力ください。

J R松本駅アルプス口より約 1.6km (徒歩約 20 分)

アルピコ交通上高地線渚駅より約 0.8km (徒歩約 10 分)

アルピコ交通空港今井線 鎌田バス停より約 0.4km (徒歩約 5 分)

アルピコ交通山形線 鎌田バス停より約 0.6km (徒歩約 8 分)

